

平成25年第1回臨時教育委員会

平成25年2月19日(火) 午後3時30分

江別市教育庁舎 大会議室

出席者	委員長 委員 委員 委員 教育長	長谷川 清 明 相馬 範 子 上野 聡 志 郷 早 見 月 田 健 二	説明員	教育部長 佐藤 哲 司 学校教育支援室長 総務課長 苅谷 正彦 総務課参事 木村 藤一 学校教育課長 三富 義信 学校教育支援室参事 伊藤 忠信 西田 昌平 園部 真幸 給食センター長 福井 洋 生涯学習課長 小林 則幸 生涯学習課主幹 永嶋 満 情報図書館長 大村 勇二 郷土資料館長 斉藤 俊彦 欠席者 教育部次長 後藤 好人 記録員 総務課総務係長 近藤 澄人 傍聴者 3名
-----	------------------------------	---	-----	---

---

1 報告事項

- (1) 江別市一般会計補正予算の査定について
- (2) 江別小学校・江別第三小学校統合実施計画の策定について

2 審議事項

- 平成25年議案第5号  
教職員の事故に対する処分内申について
- 平成25年議案第6号  
平成25年度江別市一般会計教育予算(案)について

会 議 録

長谷川委員長	<p>(開会)</p> <p>それでは、ただいまから平成25年第1回臨時教育委員会を開会いたします。 本日の議事日程は配付のとおりであります。 会議に先立ち、本日の会議録署名人を上野委員さんをお願いいたします。 議事に入ります前に、お諮りしたい事項がございます。 議案第5号教職員の事故に対する処分内申については人事案件でありますことから、秘密会による審議をご提案するものでございます。 これにご異議ございませんか。</p> <p>(異議なし)</p> <p>委員の皆様のご賛同が得られましたので、議案第5号は秘密会により進行いたします。 本件を本日の審議順の最初に行い、秘密会終了後は、その他の説明員入室のため暫時休憩します。その後、配付の会議次第にしたがって進行してまいります。 それでは、議事に入ります。 ここで、他の説明員入室のため暫時休憩いたします。</p> <p>&lt;秘密会につき会議録省略&gt;</p>
長谷川委員長	<p>それでは、委員会を再開します。 議事に入ります。</p>
木村総務課長	<p>1の報告事項(1)江別市一般会計補正予算の査定についての報告を求めます。木村総務課長お願いします。</p> <p>前回の定例教育委員会におきまして、第1回定例市議会に提出予定されております一般会計補正予算のうち、教育委員会所管分につきまして、財政部局の査定前の状態でご説明申し上げましたが、過日査定結果の通知を受けましたので、大きな変更点についてのみご説明いたします。</p> <p>資料の江別市一般会計補正予算の査定についてをご覧ください。前回の補正予算要求では、総務課から小中学校費における施設管理経費の増額と学校教育課から教育扶助費の減額につきまして要求いたしました。これが財政部局の査定により、施設管理経費のみ資料に記載の額の増額補正となっております。その他につきましては、ほぼ要求どおりの査定となっております。以上です。</p>
長谷川委員長	<p>ただいま報告のありました江別市一般会計補正予算の査定について、質問等がございましたらお願いします。</p> <p>木村課長、ちょっといいですか。これは、平成24年度の補正予算ですよ。資料に第二小学校校舎改築に伴う仮設校舎建設と校舎解体とありますが、工期としていつまでの時期に完成させなくてはいけないのですか。</p>
三富総務課参事	<p>第二小学校の仮設校舎は、今年度3月から契約を結びまして、3か月の建設期間、それから15か月のリース期間ということで、解体までは平成27年ということになります。</p> <p>次に、校舎の解体につきましては仮設校舎ができて、7月前後にレンガ校舎で学習している児童が移ってから、レンガ校舎の解体を行ってまいります。概ね3か月ぐらいを予定しております。</p>
長谷川委員長 相馬委員 木村総務課長	<p>ほかはいかがですか。</p> <p>燃料費の増額とありますが、燃料は結構使うのですか。</p> <p>小学校、中学校の施設管理費にかかる部分ですけれども、学校で使います暖房用の燃料、その部分に使用しています灯油や重油の1リットル当たりの単価が、今年度の当初と比較しまして、7円から8円の単価上昇がありました。これに伴いまして、所要の増額補正をするというものでございます。</p>
長谷川委員長	<p>ほかはいかがでしょうか。それでは、本報告については終了してよろしいですか。</p> <p>(一同了承)</p>
園部学校教育 支援室参事	<p>次に、報告事項(2)江別小学校・江別第三小学校統合実施計画の策定についての報告を求めます。園部参事お願いします。</p> <p>江別小学校・江別第三小学校統合実施計画の策定についてご報告申し上げます。 平成23年6月に設置した江別小学校・江別第三小学校統合委員会において、ご協議</p>

園部学校教育 支援室参事	<p>いただいていた両校の統合につきましては、昨年11月に統合校の場所と統合の時期について中間報告をいただきました。</p> <p>その後、校名等の協議を継続してきたところ、去る1月30日に開催されました第16回統合委員会で、統合校の校名等についての結論が出され、2月14日に正副委員長から教育長に資料の裏面にあります最終報告が提出されました。これを受けまして、教育委員会では、資料のとおり江別市学校適正配置基本計画に基づく江別小学校・江別第三小学校統合実施計画を策定いたしましたので、その内容をご説明いたします。</p> <p>一つ目として、江別小学校と江別第三小学校を統合し、新たな小学校を設置すること。</p> <p>二つ目として、歴史及び催事の扱いについて、統合は、両校の歴史を等しく尊重して対等に行われるものとし、両校を閉校した上で新たな学校をスタートさせるため、統合校における入学式等の催事は第1回からとすること。</p> <p>三つ目として、統合校の建設場所は、江別第三小学校側とすること。</p> <p>四つ目として、統合校の通学区域は、江別小学校と江別第三小学校の通学区域を合わせた区域とすること。</p> <p>五つ目として、統合は、学校建設等に係る事務を速やかに進め、出来る限り早期に実施すること。</p> <p>六つ目として、統合校の名称については、統合校のあり方に関する検討と併せて、今後十分に議論し、決定するものとする。</p> <p>その他、通学路の安全確保や統合校の施設整備についてなど、記載のとおり方針を示しております。</p> <p>教育委員会としましては、この実施計画に基づき、今年度は統合校に係る施設整備基本計画の策定を、新年度以降は教職員をはじめ、関係者による検討協議の場を設け、校名や校歌、校章なども含めて、両校の校務統合に向けた準備を進め、併せて統合校の基本設計を行いたいと考えております。</p> <p>なお、統合委員会につきましては、委員の任期が本年3月31日までとなっておりますが、このたび最終報告が提出されたことから今後の会議開催の予定はございません。以上でございます。</p>
長谷川委員長	<p>ただいま報告のありました江別小学校・江別第三小学校統合実施計画の策定について、質問等がございましたらお受けします。</p>
相馬委員	<p>平成23年6月から最近まで16回にわたり、約2年間、20名ぐらいの統合委員会で話し合っ、今手元にある委員会よりも物凄い量です。伝統校の江別小学校と伝統校の江別第三小学校を閉校した上で新たな学校を作るといことで、統合委員会の方たちが、非常に重い使命を受けて最終報告をしていただいたことに改めて感謝申し上げます。</p> <p>今回で統合委員会は終わりということですが、施設計画委員会のような新たな委員会みたいなものを作る予定はあるんですか。</p>
佐藤教育部長	<p>私としては、現時点では委員会という想定はしておりません。イメージとしては、江別太小学校、第一中学校で行ったような、改築協議の場、校長先生、教頭先生、PTA役員の方、地元自治会の方、あるいは必要に応じて教務主任でありますとか、もう少し実務的な改築協議の場を設けて進めていこうと現時点では考えています。特に委嘱した委員というイメージでは考えてはいなかったところでございます。</p>
長谷川委員長 相馬委員	<p>よろしいでしょうか。</p> <p>統合することに関して、紆余曲折があったことも分かっているんですが、これから新しい学校を作り出すということ、未来を背負っていく子どもたちの学校であるとともに、災害時の我々の避難所として利用する場所になるということ、単なる子どもたちだけの場所ではないということは重々承知しているんですね。</p> <p>統合委員会の時の話より、これからどんな学校を作るのか、どんな名前にするか、どんな校舎にするか、これからもっといろいろなことを考えなければならないと思うんです。</p> <p>上江別小学校以来となる久しぶりの新築の学校なんですよ。そういった意味でも、希望の星と言ったらあれなんですけれども。</p>
郷委員	<p>私が気になった点は、報告書のその他で、統合委員の中の1名の委員から、校名については先送りにすることなく、この委員会で決めるべきとの意見があったという部分です。</p> <p>その後、返答というか、こちらからの見解というものを何かお話しされましたか。</p>
佐藤教育部長	<p>結果として、最後になった統合委員会の中で、確かお一人欠席者がいらしたと思うので</p>

佐藤教育部長	<p>すが、19名中1名の委員さんから、設置場所に選択されなかったんだから江別小学校の校名と歴史、校歌を尊重すべきであるという主張と、先送りするのではなくて、この委員会で具体的に決めるべきであるという意見がございました。</p> <p>統合委員会は、全員一致で決まるという見込みはない情勢でした。それで、委員長、副委員長とも、次の検討の場で学校の在り方なりビジョンなりと合わせて、校名を検討すべきだという結論でほかの皆さんに諮り、このことについては異議なく了承されました。</p> <p>ただ、最終的に最後までこの1名の委員さんが記載のとおり意見を主張されて反対していたというのは、事実でございます。そういった意味では、先ほど申し上げましたようなこの検討の場面でいいのかということも頭の隅にはございます。しかし、やはり学校というのは、まず第一には学校であり、膨大な校務を寄せて行く統合作業はどちらかと言うと実務的作業に近いものです。</p> <p>その一方で、校区内のすべての自治会長さんに集まっておきまして、先般学校の在り方についての検討協議の場も持たせていただきました。また、その席には両方のPTAからも会長さんをはじめ出席を求めて、検討協議に加わっていただいております。</p> <p>また、それに先立って両校の校長先生をはじめとして、教職員にも集まっておきまして、年度内にさらにこういった集まりを開いていって、いろいろなご意見をいただいていると思っています。あえて付け加えますと、校名というよりも、歴史の取扱いが一番大きな問題になります。この伝統ある120年を超える学校の歴史を閉じるということは極めて重い問題だと思っております。私は、校名というのは校名だけの問題ではなくて、第1回入学式、卒業式になるのかどうかという歴史の問題に直結する面があるという発言を一昨年の統合委員会の中でさせていただきました。統合委員の皆さんは途中で10名メンバーが変わりましたが、全員そのことを十分認識いただいた上で、この結論に至ったということでございます。そして、その趣旨はどちらの学校の子どもにも統合されたという思いをさせたくないという、そういう保護者の願いが強くここに表れているということでございます。以上です。</p>
郷委員 長谷川委員長 上野委員	<p>ありがとうございます。</p> <p>ほかはありませんか。</p> <p>統合委員会は、この人数で結構な回数を重ねた結果がこう決まったということで、今後学校が完成する前に、校名や校章、校歌を決めなくてはならないと思います。どこかで決めましたというものが無いと、いろいろな意見をバラバラでやっていると全然收拾がつかなくなるような気がするんです。</p> <p>先ほど、相馬委員さんから出たけれども、委員会とまでは言わないけれども、ある程度人を集めて、そこでさらに協議をして、こういうふう最終決定したというような方法を取ったほうが、私はいいような感じはしています。その辺はちょっと考えながら、進めていってほしいと思います。</p>
佐藤教育部長	<p>先ほどの相馬委員さんからのご発言を含めて、改めて答弁させていただきたいと思いません。行政におきましては、改築という言葉は新築を指しております。増改築という意味合いではなく、行政用語の改築は新築のことでございます。したがって、江別太小学校も第一中学校も新築でございます。先立って行われるのは、第二小学校の一部改築ですが、これも一部と言っても新築です。それから、今上野委員さんからございました点につきましては、私も非常に強く気になっている部分ではあります。何らかのしつこい手順を踏んで、最終的に議会の議決に関わってくる部分もありますけれども、こういった手順が一番良いプロセスなのか、別に検討させていただきたいなと思っています。</p> <p>そのこととは別に、改築三校以上に、統合校においては、こういった学校であるべきかという実務作業のボリュームは激増します。そういったことについては、やはり当事者たる教職員、PTA、それから地域自治会の方を中心に、どんどん実務的に進めていかないと、なかなかうまくいかないのかなと思っています。あえて付け加えますと、校名が決まらなくても、一定程度そういった作業を進めていけますので、少しの冷却期間も必要かなと現時点では考えているところでございます。</p>
月田教育長	<p>決めるに当たってのプロセスについては、組織の在り方も含めて、これから検討させていただきたいと思っています。以上です。</p> <p>江別太小学校、それから江別第一中学校の改築に関わりまして、それぞれ会議を持っているんですけれども、その会議は非常に和やかな会議なんです。自分の家を建てるという</p>

<p>月田教育長</p> <p>長谷川委員長</p> <p>相馬委員</p> <p>園部学校教育 支援室参事 相馬委員</p> <p>園部学校教育 支援室参事</p> <p>相馬委員</p> <p>佐藤教育部長</p> <p>長谷川委員長</p> <p>佐藤教育部長</p>	<p>ことと同じように、新築でこんな学校がいいということで、皆さんはにこにこ顔で会議に臨んでいただいています。</p> <p>今までの統合委員会は大変難しい会議だったんですけども、これからはもう場所も決まりましたので、どんな学校にしていこうということを一つの学校だけでは考えられないという不便さはあるんですけども、それでも集まって来てくださった校長先生やPTAの方たちは、にこにこ顔でやっていただければというようにお願いしようかなと思っております。</p> <p>一番問題なのは、5番目の統合時期ということで、今現在小学校1年生も入れない状態というようなことでは非常にまずいと思っておりますので、なるべく早く学校が建って、両校がその学校へ入るといような仕組みを早めにつけていければいいと思っております。</p> <p>江別においては、江別小学校、江別第三小学校とも歴史があり、本当に重い思いがあるわけで、そういった中で苦労して最終的にまとめた報告書は尊重して行ってほしいと思います。</p> <p>もう一つは、例えば統合した場合、江別小・三小それぞれで学んだ子どもたちが新しい学校へ行ったときに、校名が片方の学校になると、果たして今まで慣れ親しんだ子どもはどう感じ取るのか。あくまでも、目線は子どもで、子どもたちの学校、子どもに重きを置いて検討していただきたい。そして、1日も早く、新しい学校で安心して子どもたちが学べるようお願いします。スピーディーにやるのは、非常に大変なことだと思いますが、1日も早く学べるように我々もできるだけ支援はしていきたいと思っておりますのでよろしくお願いします。</p> <p>あと、もう一ついいですか。統合校ということで、昨今は上江別小学校のような大規模校が少ないんですね。ちょっと前までは、小規模校がいいなんていう論があったんですけども、今は小規模校が多くて、ある意味で切磋琢磨する学校がなくなってきている。大規模校の魅力っていうものがあると思うんですけども、それでお聞きしたいんですけども、江小と三小が統合されると大きな学校になるんですか。</p> <p>440人で、14学級です。1・2年生は3学級で、ほかはすべて2学級です。</p> <p>上江別小学校ほど大きくはならないということですね。もし、江小・三小が統合したら、大規模校としては3番目くらいですか。</p> <p>上江別小学校が24学級、対雁小学校が21学級、第二小学校が18学級、今度の統合校が14学級になります。中央小学校が13学級、439人ですので、今年の中央小学校と同じくらいの規模になります。</p> <p>それであっても、そんなに大きな学校にはならないんですね。先ほど、佐藤部長から江別太小学校改築の改築は新築という説明があつて、そうなんだと思ったんですけども、江別太小学校は新築ということでどれくらいの規模の学校になるのでしょうか。</p> <p>今手元に資料はないんですけども、江別太小学校は児童数500人台で、人数は結構多い学校でございます。</p> <p>それでは、本報告については終了してよろしいですか。</p> <p>(一同了承)</p> <p>続いて、2の審議事項に入ります。</p> <p>平成25年議案第6号平成25年度江別市一般会計教育予算案についての説明を求めます。佐藤教育部長お願いします。</p> <p>平成25年度の教育予算及び教育行政推進計画について、特に私からは議案書3ページから教育行政推進計画について、要点に絞って申し上げます。</p> <p>まず国の動向であります。文部科学省は第2期教育振興基本計画に向けて審議を進めておりました。基本的方向性は昨年もこの教育委員会で申し上げましたとおり、一つは社会を生き抜く力の養成、もう一つは未来への飛躍を実現する人材の養成、さらには学びのセーフティネットの構築、そして絆づくりと活力あるコミュニティの形成という四つであります。例えば、学びのセーフティネットの構築の中には「安全・安心」が含まれており、具体的には学校教育施設や社会教育施設等の耐震化が、依然として大きな課題であることなどあります。</p> <p>こうした動向も踏まえまして、江別市教育委員会といたしましては、来年度が計画期間</p>
---	--

<p>佐藤教育部長</p>	<p>の最後となる総合計画後期基本計画に掲げた「子育て環境の充実」、「子どもの可能性を伸ばす教育の充実」、「生涯学習の充実」、「青少年健全育成の推進」、「ふるさと意識の醸成と地域文化の創造」、「市民スポーツ活動の充実」を基本とし、子どもを産み育てる環境が整う教育・文化のあふれる街えべつの実現に向け、教育関連施策の着実な推進に努めてまいります。</p> <p>まず、教育関係の大きな計画についてであります。社会教育総合計画とスポーツ推進計画の次期計画策定を進めるほか、新たに仮称江別市学校教育基本計画の策定作業を進めてまいります。</p> <p>次に、安全・安心な教育環境の実現に向けた学校施設・設備の改修では、校舎屋体耐震化事業として、江別第二小学校の校舎部分改築工事に着手し、江別太小学校と江別第一中学校の改築実施設計等を進めるほか、東野幌小学校の屋根改修工事、江別第二中学校のグラウンド改修工事、中央小学校の屋体暖房改修工事等を実施いたします。</p> <p>なお、災害時の避難所ともなる市民体育館については、災害時における学校教育の早期再開を視野に入れ、耐震整備の実実施設計を予定しております。</p> <p>また、学校教育の情報教育推進事業では、教育用パソコンの計画的更新と小学校教職員への校務用パソコンの配置のほか、小中学校全校に電子黒板を整備し、学校のICT環境整備を推進いたします。</p> <p>特別支援教育では、新たに通常学級に在籍する比較的軽度の発達障がいがある児童生徒に対し、個々の障がいの状態に応じた指導を行う特別な指導の場（通級指導教室）を大麻東小学校に新設いたします。</p> <p>市民一人ひとりが生き生きと豊かな人生を送ることができるよう、江別市の教育政策の柱である「豊かさと創造性を育む生涯学習環境の充実」を着実に実現するべく、各種教育施策に全力で取り組んでまいります。</p> <p>予算の内容につきましては、一部重複する部分がございますけれども、総務課長ほかをもってご説明いたします。</p>
<p>木村総務課長</p>	<p>平成25年度予算の概要についてご説明申し上げます。</p> <p>議案第6号2ページ、平成25年度教育予算案総括表をご覧ください。表の一番下、合計欄に総務費、商工費を含む教育関係予算全体を示しております。</p> <p>平成25年度当初予算額は、30億6,007万4,000円で、平成24年度当初予算と比較いたしますと、金額で5億4,436万8,000円、率にして21.6%の増となります。これに、25年度に予定していた事業のうち、国の緊急経済対策等で前倒した校舎屋体耐震化事業など、3月補正で追加した3事業分4億1,173万4,000円を加え、15か月予算としてみると、額では9億5,610万2,000円、率で約40%の伸びとなります。市の一般会計予算総額408億5,000万円、前年比4.1%の増と比べると非常に大きな伸びとなっており、教育関連施策の継続性や事業の緊急度や優先度などに一定の配慮がなされたものと考えております。</p> <p>次に教育予算のうち、増減の大きな科目についてご説明いたします。</p> <p>まず、小学校費、中学校費の学校営繕費をご覧ください。これは、安全・安心な教育環境の実現に向け、校舎屋体耐震化事業として行う校舎の改築や改築に向けた実施設計のほか、学校施設の整備費を計上したものであります。</p> <p>小学校費では、25年度着工する江別第二小学校の校舎部分改築工事、大麻小学校のレンガ校舎解体工事、江別太小学校の改築実施設計にかかる費用などが加わり、大幅増となっております。</p> <p>中学校費では、江別第一中学校の改築実施設計、江別第二中学校のグラウンド改修にかかる費用などが主な増加理由です。</p> <p>続いて、教育振興費をご覧ください。教育用パソコンの更新や教職員用パソコンの配置のほか、小中学校全校への電子黒板導入など、学校のICT環境整備にかかる費用などを計上しております。</p> <p>小学校費では、教職員用パソコンの配置、電子黒板の導入費用等の計上により、前年と比べ30%近い増額となりました。</p> <p>中学校費は、小学校費同様、電子黒板導入による予算増がありますが、24年度予算に計上されていた教科書の全面改訂による教師用教科書購入や武道必修化に伴う備品整備にかかる予算の減少が大きいいため、前年に比べ減額となりました。</p>

木村総務課長	次に文化振興費です。前年に比べ、額で約1,100万円、26%の予算増となっております。これは、大麻北町にある文化財整理室の老朽化した煙突撤去に要する費用が主な理由です。
三富総務課参事	8行下、体育施設費をご覧ください。市民体育館ボイラー老朽化に伴う更新費用を計上したため、前年に比べ、額で約1,800万円、82%の予算増となっております。 次に4行下、総務費、財産管理費ですが、前年比約280%の増となっております。これは、教職員用集合住宅の屋上防水改修費、管理住宅の住戸改善費によるものでございます。 最後に、下段のセラミックアートセンター費です。これについては、昨年度に引き続き屋上防水改修工事を実施いたしますが、施工する屋根構造や施工面積の違いにより予算額が減少しております。私からは以上でございますが、詳細につきましては、担当の課長、参事、館長より説明いたします。 7段目にあります学校施設整備事業（小学校校舎屋体改修）について、ご説明させていただきます。平成24年度末までに中学校として使用している角山中学校校舎については平成25年度以降、角山小学校校舎として使用されますが、外壁の老朽化により腐食や塗膜剥離が進行しているため、約1,000万円をかけて窓下部分の鉄板の張替え及び外壁の塗装を行ってまいります。
伊藤学校教育課長	重複いたしますけれども、東野幌小学校の校舎屋根補修工事でございます。これにつきましては、東野幌小学校の前庭が中原通りの拡幅により狭隘となったことから、玄関付近への落雪があるため、1,400万円をかけて校舎の屋根の形状を一部無落雪屋根に変更する工事を行ってまいります。 次に、学校施設整備事業（小学校環境整備）では、東野幌小学校の前庭が先ほど申し上げましたが、中原通りの拡幅により狭隘となったことから、3,200万円ほどをかけて、外構実施設計及び改修工事を行ってまいります。以上、施設係の主な事業であります。
西田学校教育支援室参事	学校教育課関連で、12月にご報告した予算要望段階から変更となったものについてご説明いたします。資料の17ページをご覧ください。 下から3番目、北海道中学校水泳競技大会補助金であります。平成25年度中体連全道大会のうち、水泳競技について野幌総合運動公園で開催されることから、開催地としてその運営にかかる経費を補助するものとして、15万円が新たに支出となるものであります。以上であります。
園部学校教育支援室参事	特別支援教育担当分についてご説明いたします。資料の18ページをご覧ください。 上から2番目、特別支援教育推進事業についてであります。これまでの事業継続にかかる経費と合わせて、先ほど教育部長の説明にもあったとおり、来年度大麻東小学校に新たに開設する発達障がい通級指導教室に必要な経費としまして、指導教員の補助業務を行う第2種非常勤職員の報酬108万2,000円、教室整備のための一般工事費22万円、教材購入等のための備品購入費22万円、合計152万3,000円を計上しております。以上で、特別支援教育担当分の説明を終わります。
斉藤郷土資料館長	学校教育支援担当参事所管分で、平成24年度当初予算と大きな変更のあった事業についてご説明いたします。 18ページ5行目の学校適正配置推進事業についてですが、査定額2,521万6,000円には、先ほどご報告いたしました江別小学校・江別第三小学校統合実施計画に基づいて実施いたします統合校建設の基本設計の委託料2,323万6,000円が含まれております。以上でございます。
長谷川委員長 佐藤教育部長	資料の22ページをご覧ください。郷土資料館所管の主要事業について、新規の事業内容のみ説明いたします。 まず、文化財係の文化財施設整備事業におきまして、萩ヶ岡にあります市指定有形文化財火薬庫の補修工事費のほか、先ほど説明のありました大麻北町にあります文化財整理室敷地内の老朽化した煙突の地上部解体撤去工事費を計上しております。 また、その下の郷土資料デジタル化事業では、市指定無形文化財野幌太々神楽の100周年を記念して、平成11年に舞などの映像を記録したビデオテープをDVD化する事業に3か年計画で取り組むこととしており、初年度の平成25年度は21万7,000円を計上しているところでございます。以上です。 ただいま説明のありました本件に対する質問等がございましたらお受けいたします。提出議案の一部訂正をお願いいたします。

佐藤教育部長	議案の5ページ目、教育行政推進計画でございますけれども、上から3行目の後段、発達障がいのある児童生徒に対しという表現になっておりますけれども、児童に対しということで、生徒の二文字の削除をお願いいたします。以上であります。
長谷川委員長 郷委員	質問がありましたら、どうぞお願いします。 郷土資料館の新規事業で、100周年を迎える野幌太々神楽のビデオをデジタル化する件なんですけれども、デジタル化した後はこの人たちだけで記録として残しておくものなんですか。それとも、情報図書館で見ることができるようにするとか、こういった活用があるのですか。
斉藤郷土資料館長	一つには、無形文化財を記録したのものとして、文化財保存ということですよ。もう一つは、文化財を伝承している団体の方々のいわゆる教本として活用していくという二本立てでございます。
長谷川委員長 上野委員	ほかはいかがでしょうか。 今あった事業の上の事業で、文化財を保存している建物の件で、煙突を壊すだけであの建物自体は何ともないんですかね。一回入ったことがあるんですが、相当ボロボロになっている気がするんですが、今後煙突を撤去した後に何か考えはあるんですか。
斉藤郷土資料館長	昭和32年に、NHK野幌放送所として建てられた建物で、55年近く経過しています。鉄筋コンクリート造りでそれなりに強度はありますが、50年以上経過している建物ですので、これからもずっとこの判断で使っていくとは私たちも考えてはおりません。何らかの移転先なりを検討していかなければならないと考えているところです。
上野委員 長谷川委員長 相馬委員	大事なものをしまっている所ですからね。 ほかはいかがですか。 先ほど、木村課長の説明で、15か月予算で見ると、前年度よりも約10億円近くも増えているとありました。老朽化で建物が古くなってしまったら、建て直して新しいものを造っていくと思うんですが、歴史のある江別市内において、今後とも老朽化により見直していかなければならない建物はたくさんあるんですか。
佐藤教育部長	教育委員会は、江別市の行政組織の中では、最も多くの建築物を管理している部だと思えます。市営住宅とか、多くの戸数を抱えている部もあるんですが、学校、それから教職員住宅、体育館、プール、文化施設、そういったものは教育委員会が中心となって管理をしております。
	昭和56年6月の新建築基準以降のものはともかく、以前のもとなりますと年数も年数ですので、必要、不要をまず見極めて、不要なものもただで解体できるわけではございません。必要なものについては何らかの補強なり、今国が言うところの長寿命化という単語が表に出てきていますけれども、延命策を図っていく必要があると思えます。
	そういった流れはございますけれども、私といたしましては、当面はまず江別の耐震化の計画でも第一となっております学校の耐震化を最優先で進めていかなければならないと考えています。
	2番目は、庁舎ということで進んできておまして、体育施設等は3番目ということでございましたが、本日午前中の総務文教常任委員会で、総務部から庁舎についてはただちに見通しが立たないので、体育施設等の耐震診断を優先し、その結果を含め総合的に判断するとの報告がなされておりましたので、学校の次は市民体育館、あるいは大麻体育館等の避難所となる体育施設を優先していくものと考えております。
	それと併せて、今回の非構造部材もそうですけれども、他の細かな部分もできる限りの目配りをしながら、国の優良な補助事業制度に乗る形で、維持補修を進めていかなければならないと考えております。
	ただ、一つ障害になりますのは、今回もかなり大規模な教育予算の増大となっておりますけれども、本格着工に入りますとさらにもっと大きな工事費の増大を見ることとなります。そうした中では、なかなかまんべんなく維持補修のお金を見ていくというのは、財政的にも難しい面が出てくるのかなと考えております。以上です。
相馬委員	庁舎って、教育庁舎のことですよ。 (「本庁舎」との声あり)
相馬委員 佐藤教育部長	教育庁舎のことではないんですか。 総務部が考えている耐震診断については、子どもたちの安全も第一ですけれども、避難所となります小中学校の校舎の耐震化を1番目に優先すべきものという整理をしております。



佐藤教育部長	<p>ました。次に、災害の本部ともなります庁舎の耐震化が2番目に優先するという整理をし、その後で社会体育施設等という整理を、これまでは議会に示してきたところでございますが、本日の総務文教常任委員会において、ただちにその本庁舎の補強なり改築なりという整理がつかないので、まず社会体育施設等の耐震診断を優先して行う。その状況、結果を踏まえて、総合的に判断する旨の報告がなされました。本日をもって、ある種順番が入れ替わるような報告がなされましたので、それを受けて私といたしましては、学校は現に今進めているわけですが、次は社会体育施設について計画的に進めていこうとするものであります。</p>
	<p>具体的に申し上げますと、市民体育館は今年度耐震診断を行いましたので、耐震補強のための実施設計を来年度行いたい。大麻体育館につきましては、こういう予算ということになりましたので、来年度以降の耐震診断を私としては考えております。</p>
相馬委員	<p>青年センターにつきましては、改築を視野に入れておりますので、現時点で耐震診断を想定しておりませんが、総務部の議会報告では、いずれも耐震診断の結果をもって判断するという考え方が示されているので、今後すり合わせていきたいと考えております。以上です。</p>
相馬委員	<p>よろしいですか。私は何を言いたいかと言いますと、本庁舎は分かるんですけども、私どもの教育委員会ですから、教育委員会にいる者としては、今いる建物に関して考えていただきたいですね。このことに関して声を出さないと、ここが司令塔ですから、ここは耐震化されているんですかね。</p>
郷委員	<p>元消防署なので、そんなに弱くはないのかなと思いますが、ただ本庁舎が立派になれば、もしかしたら教育委員会もそこに引越しになるのかなという私の勝手な考えがあります。一つに統合したほうがいいのかと思います。</p>
相馬委員	<p>教育委員会は司令塔でいろいろな建物を持っているので、教育庁舎も・・・。</p>
佐藤教育部長	<p>補足させていただきますけれども、本で行われました総務部の総務文教常任委員会への報告では、そういった庁舎の在り方を検討する中において、教育庁舎は国道12号をまたがなければならないなど、庁舎の分散している状況の問題点について言及されております。したがって、本庁舎をどうするか具体的な表明はありませんでしたけれども、例えば本庁舎を建築するとなれば、市民の利便を考えまして現在分散しているこういった庁舎機能を統合することもあり得るという意味を含んだ総務部からの報告であったと私は受け止めております。以上です。</p>
相馬委員	<p>教育庁舎に対しての私の思いがあったものですから。教育庁舎を含めて、江別市の庁舎は、凄い分散されていますよね。13万都市とは思えないような庁舎なんですよ。</p>
郷委員	<p>どんな地域でも、本庁舎は立派なものが建てられている状況かと思えます。岩見沢市もいろいろな教育施設なども凄く充実しているので、比べてしまうと少し寂しい部分があるのかなと思います。それだけ、ほかのところに予算を使って、こういうところを切り詰めて頑張っているという見方もあると思います。</p>
相馬委員	<p>今まではそれで良かったけれども、3.11の震災から考え方が180度変わってしまったんですね。そういったことをしっかり踏まえて、言うべきことは私どもも言わなければならない。議員さんは言うてくれて、私どもは何も言わない、はい、そうですかというのは変ですよ。司令塔がグラグラしているというのは、ちょっと問題だと思うんですよ。その点では、佐藤部長のお話で少し理解できたと思います。</p>
佐藤教育部長	<p>総務部が庁舎をどうするという断定的な表現で報告したというようには思っていないんですけども、いずれにいたしましても、今相馬委員さんが言いましたような庁舎の分散化の問題、とりわけ、教育庁舎については国道12号をまたぐ、不便をかけているという意味での議会報告がなされていたので、そういった庁舎機能の統合化と言いますか、そういったことを視野に入れているということは確かだと私は理解しています。</p>
	<p>ただ、耐震全般の計画については、どうしても市民優先、子ども優先ということがありますので、繰り返しになりますけれども、私どもとしては小中学校の耐震化を最優先、そして議会報告がありましたけれども、次は社会体育施設の耐震化、つまりこの耐震化については、教育委員会が先頭に立っているという認識に現在おります。以上であります。</p>
長谷川委員長	<p>ほかはありませんか。</p>
郷委員	<p>電子黒板の予算が出ていましたが、いつぐらいの導入を考えているのですか。</p>
伊藤学校教育課長	<p>電子黒板につきましては、早急に入れたいと考えておりまして、25年度予算になります。</p>

伊藤学校教育課長	<p>すので、25年度になりましたら早々に入札にこぎ着けたいと思っています。契約に当たりましては、議会の議決が必要になるであろう金額でありますので、できれば6月議会に諮ることができるようにということで準備を進めております。</p>
長谷川委員長	<p>また、参考までに申し上げますと、電子黒板に必要なパソコン、小学校教職員のパソコンも今整備する予定でございますが、同時期に整備していきたいということで進めております。</p> <p>活用する先生方についても、非常に大事なことです。いくら立派なものを整備しても、上手に活用できなければならぬので、先生方の研修もお願いしたいと思います。</p> <p>それでは、佐藤部長からお話がありましたように、かつてない大きな予算が計上されたわけですが、それに伴って職員体制の整備も併せて考えていかなければなりません。忙しいあまり、他の業務が疎かになっていくということにつながるために、これから人事異動の時期にもなりますので、佐藤部長よろしくお願いしたいと思います。</p> <p>それでは、平成25年議案第6号平成25年度江別市一般会計教育予算案についてを承認することにご異議ありませんか。</p> <p>(一同了承)</p> <p>それでは、そのように承認いたします。</p> <p>以上をもちまして、第1回臨時教育委員会を終了いたします。</p> <p>(閉会)</p>

終了 午後4時54分

署名人(委員長) 長谷川 清明

署 名 人 上野 聡志